

平成29年度
事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 29 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
(1) 国際交流の推進	3
(2) 国際理解の推進	7
(3) 国際交流団体等との連携	8
2 多文化共生の地域づくり	10
(1) 情報の収集・提供	10
(2) 日本語学習支援	11
(3) 外国人県民等の生活支援	11
3 次代を担う人づくり	15
(1) 講座・研修	15
(2) 海外研修員等の受入れ	19
< 管理部門 >	
I 評議員会・理事会等の開催状況	21
II 業務執行体制等	21
1 職員の状況	21
2 コンプライアンス体制及び職員研修	21
3 JICA 国際協力推進員の配置	22
III 寄附金及び賛助会員の状況	22
1 寄附金の受入れ	22
2 賛助会員の入退会	22

平 29 年度事業報告

＜ 概 要 ＞

平成 29 年度は、事業計画に基づき、「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」、「次代を担う人づくり」の 3 つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

特に、技能実習生やインバウンド観光の急増に加え、ラグビーワールドカップ釜石開催や国際リニアコライダー実現の機運が高まる中、重点事項として、地域の国際交流拠点としての役割発揮が一層重要となってきた市町村国際交流協会と連携し、各地域でのスポーツや文化をテーマとした協働イベントや外国人講師の派遣による出前講座を実施したほか、滝沢市国際交流協会の設立に当たり、助言や事業運営の支援を行うなど、市町村協会の運営強化や体制づくりに向けて、積極的な支援に努めた。

また、在住外国人数の増加や支援ニーズの多様化を踏まえ、日本語サポーターや災害時における多言語サポーター育成のための研修の実施、長期在住外国人を対象とした生活支援セミナーの開催等、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

さらに、県内各地域で若い世代と留学生等とが一緒になってグローバル化に対応した地域活性化について考えるワークショップを開催したほか、海外留学への意識高揚を図るための講座の開催や「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、大学生等の海外留学支援事業を実施するなど、若年人材の育成に重点的に取組んだ。

3 つの柱における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントや語学サロンを定期的にも実施するなど、センター利用者の拡大に努めた。

ワン・ワールド・フェスタについて、「文化・スポーツ」をテーマに、アイーナでの開催のほか、市町村協会等と協働し、盛岡市、釜石市、二戸市、一関市及び住田町で交流イベントを実施した。

また、外国人を講師として各地域に派遣し、外国文化の紹介や体験等を通じて、異文化理解の促進や外国人の視点を入れたまちづくりを考える機会の提供を図り、県内全体における国際化の促進に努めた。

2 多文化共生の地域づくり

ホームページの更新や情報紙の発行回数を増加等、多言語での情報提供機能の充実を図った。

日本語学習支援について、昨年度に引き続き実施した日本語サポーター研修では、新たに実際に日本語教育の授業見学を行う特別研修を導入し、指導能力の向上を図った。

また、技能実習生や外国人観光客の増加など多様化する外国人への対応に向けて、災害時に多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練、在住外国人との意見交換会を実施した。

3 次代を担う人づくり

「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業について、中高生、大学生を対象に県内7地域で当地の活性化について留学生とともに考えるワークショップを開催したほか、いわて青年国際塾やグローバル・カレッジでは、コミュニケーションやグローバルな問題について新しい視点から学ぶ講座や講演会を開催し、グローバル社会への対応や海外留学への意識高揚を図った。

また、「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、県内の大学生等7名の海外留学を支援するなど、本県のグローバル化を担う若い人材の育成に重点的に取り組んだ。

＜事業活動＞

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

(1) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ7名及び外国人相談専門員等5名を配置し、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援のほか、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 **145,656** 人（前年度 140,540 人）
- ・インターネット利用者数 **2,262** 人（前年度 3,406 人）
- ・情報提供件数 **1,281** 件（前年度 1,691 件）

② 外国人との交流会の開催

留学生等、在住外国人との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開催するとともに、アイーナ入居団体等との連携による企画イベントを実施した。また、英語、中国語、スペイン語の各サロンを開設し、参加者の拡大に努めた。

- ・開催回数 23 回、参加者 延べ 636 人（前年度 9 回、参加者延べ 1,294 人）
- 外国人との交流会 開催回数 11 回、参加者延べ 430 人
- 語学サロン 英語、中国語、スペイン語 各 4 回開催 参加者延べ 206 人

開催日		テーマ	参加人数
1	4/15(日)	外国人との交流会「ちゃっとランド」 「Jambo from Kenya」	15
2	5/20(土)	岩手の魅力とエコツーリズム	16
3	6/17(土)	インディアナアメリカの十字路	28
4	7/22(土)	中国雲南省 Kids in いわて	45
5	8/19(土)	親子でカップケーキデコ	22
6	9/16(土)	チュニジアー地中海の風に吹かれて	21
7	10/9(月)	親子で楽しもう 国際交流	210
8	12/16(土)	クリスマスパーティー	34
9	1/20(土)	アジア再発見ー留学生との交流会	15
10	2/17(土)	国民的スポーツ in カナダ アイスホッケー	16
11	3/17(土)	Hola from パラグアイ	8
12	6/3(土) ほか	中国語サロン (4 回)	76
13	7/1(土) ほか	スペイン語サロン (4 回)	57
14	5/6(土) ほか	英語サロン (4 回)	73
合 計			636

③ 国際交流イベントの開催

ア「2017 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

「2017 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」をアイーナ（盛岡市）のほか、ふれあいランド岩手（盛岡市）で開催した。

・アイーナ（盛岡市）における開催

- ・開催日 平成 29 年 11 月 17 日（日）
- ・会場 国際交流センター他
- ・参加者 4,600 人（前年度 4,446 人）
- ・テーマ スポーツで世界をつなぐ
- ・プログラム 「ワールドエリア（スポーツ、カルチャー）」、「ワールドカフェ」、「ハラル風レストラン」、「ステージ」、「民族衣装試着体験」、「キッズコーナー」、「国際交流スタンプラリー」ほか
- ・協賛等 岩手ウインターリゾート協議会

・ふれあいフェスタ

- ・開催日 平成 29 年 11 月 3 日（土）
- ・会場 ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ・参加者 約 150 人
- ・主催 福祉交流施設ふれあいランド岩手（指定管理者：（社福）岩手県社会福祉協議会）
- ・協賛 （公財）岩手県国際交流協会
- ・プログラム ワールドブース、ワールドステージ、世界の楽器コーナー、世界のお茶お菓子コーナー

イ 「ワールド文化・スポーツフェスタ」の開催

・盛岡地域

「アフリカ民族楽器『ジャンベ』ワークショップ」

- ・開催日 平成 29 年 7 月 17 日（月）
- ・会場 盛岡駅西口「からくり時計前 光の広場」
- ・演者等 アブドウ・バイファル（セネガル）、ラミン、深井眞理
- ・実施内容 ジャンベのデモンストレーション、ジャンベ ベーシックワークショップ（基本）演奏、さんさのリズムに合わせた演奏、ジャンベダンスのワークショップ
- ・参加者数 延べ 92 名

・盛岡地域

「アジアナイト～インドネシアとネパールの風に祈りをこめて～」

- ・開催日 平成 30 年 3 月 2 日（金）
- ・会場 アイーナ会議室 804
- ・演者等 ガムラン演奏 ランバサリ
バリダンス 阿部アユ・イスカンダール
ネパール音楽演奏 チョウタリバンド（パンチャラマ、サラバンラマ）

- ・実施内容 ガムラン演奏、バリダンス、ネパール伝統楽器の演奏
- ・参加者数 184名（一般 179名、留学生5名）
- ・**県南地域**
 - 「2017 ワールド文化・スポーツフェスタ in いちのせき」
 - ・開催日 平成29年12月2日（土）
 - ・会場 なのなはプラザ 地下多目的スペース（一関市大町4-29）
 - ・共催 一関市、平泉国際交流協会
 - ・後援 一関国際交流協会、東山国際交流協会、川崎21世紀国際交流クラブ、藤沢町国際交流協会、むろね国際交流クラブ
 - ・演者等 ランバンサリ（ガムラン演奏グループ）、阿部アユ・イスカンダール
 - ・実施内容 ガムランの演奏及び舞踏、ワークショップ、インドネシア物品の展示など
 - ・参加者数 115名
- ・**沿岸地域**
 - 「2017 ワン・ワールド・フェスタ in 釜石」
 - ・開催日 平成29年10月8日（日）
 - ・会場 ラグビーカフェ釜石
 - ・共催 釜石市
 - ・協力者 外国人参加者 17名
 - ・実施内容 W杯出場国出身者による紹介コーナー、留学生による自国紹介と交流、スタンプラリー、民族衣装試着等
 - ・参加者数 約150名
- ・**沿岸地域**
 - 「2017 ワン・ワールド・フェスタ in 住田町」
 - ・開催日 平成30年2月17日（土）
 - ・会場 住田町町民ホール・プラザ
 - ・共催 住田町教育委員会
 - ・後援 住田町、大船渡市国際交流協会、陸前高田市国際交流協会
 - ・演者等 ウィンターホーク（アメリカ）、ビービー・モフラン（コンゴ）、ダウティ・ジョセフ（タンザニア）、深井眞理
 - ・実施内容 アフリカ音楽（ジャンベ）&ダンスの演奏及びワークショップ「アフリカンオールスターズのステージ」、世界のお菓子&飲み物コーナー、民族衣装試着コーナー、キッズコーナー、外国人による自国紹介コーナー（6か国）、世界とのかけはしクラブワークショップ
 - ・参加者数 約280名
- ・**県北地域**
 - 「2017 ワールド・ワールド・フェスタ in 二戸」
 - ・開催日 平成29年10月15日（日）
 - ・会場 カシオペアメッセなにゃーとメッセホール

- ・共催 二戸市国際交流協会
- ・後援 二戸市、二戸市教育委員会、県北広域振興局
- ・演者等 アブドウ・バイファル（セネガル）、プジュ・シソコ、深井眞理
- ・実施内容 アフリカ音楽（ジャンベ）＆ダンスの演奏及びワークショップ、世界のお菓子＆飲み物コーナー、民族衣装試着コーナー、キッズコーナー、外国人による自国紹介コーナー（9か国）、世界とのかけはしクラブワークショップ
- ・参加者数 約 250 名

ウ 盛岡さんさ踊りへの参加

- ・参加日 平成 29 年 8 月 3 日（水）
- ・参加者 124 人（外国人：18 か国 39 人）
（前年度 117 人、外国人：17 か国、41 人）

* 「パフォーマンス賞」受賞

④ 「身近な国際協力～世界フェアトレードデイ～」の実施

「2017 世界フェアトレードデイ in いわて」

- ・テーマ 「環境×フェアトレード×国際協力」
- ・開催日 平成 29 年 5 月 20 日（土）
- ・会場 国際交流センター
- ・共催 環境学習交流センター、国際協力機構東北支部
- ・内容 フェアトレードカフェ、映画上映、フェアトレード物品販売等
- ・参加者 217 人（ボランティア 22 人）

⑤ ホストファミリーの登録・活用

ホストファミリーの登録を行い、ホームステイの依頼に応じて活用を促進した。

- ・登録者 49 家、活用 4 件（19 家庭）（前年度 157 家庭 8 件）

⑥ いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人 187 人、団体 3 団体、依頼件数 71 件、活用件数 54 件
（前年度 個人 340 人、団体 7 団体、依頼件数 73 件、活用件数 52 件）

(2) 国際理解の推進

① 企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	3 月 23 日～4 月 6 日	第 4 回外国人留学生よる「いわてのいいところ」写真展
2	4 月 1 日～5 月 10 日	「青年海外協力隊が見た世界」国際協力展

3	5月10日～5月31日	フェアトレード展
4	4月18日～5月5日	岩手から世界へ～開発途上国で活躍する JICA ボランティア～写真展
5	6月21日～8月15日	「盛岡さんさ踊り写真展」
6	6月10日～7月31日	中国雲南省民族人形展
7	8月9日～11月17日	「世界の絵本」小さな展覧会
8	11月21日～12月26日	Merry Christmas
9	11月21日～2月6日	韓国衣装展
10	2月6日～3月30日	ウインタースポーツと一緒に！
11	12月27日～1月16日	日本のお正月
12	1月17日～3月30日	寒い冬はこたつで読書・おすすめBOOK展

(3) 国際交流団体等との連携

県内4圏域ごとに担当職員を配置し、各市町村国際交流協会への支援窓口を設置するとともに、盛岡、県南、沿岸及び県北の4地域で連携強化の取組等に関する意見交換会を行った。

① 地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催

	開催場所	開催日	参集者
盛岡地域	盛岡市 (アイーナ)	4月25日(火)	参集者12人 ・市町村協会5団体(6人) (内市町村兼務2人) ・市町村4市町(4人) ・県国際室1人 ・盛岡広域振興局1人
県南地域	北上市 (北上市生涯学習センター)	4月24日(月)	参集者17人 ・市町村協会6団体(8人) ・市町村5市町(7人) ・県国際室1人 ・県南広域振興局1人
沿岸地域	宮古市 (宮古地区合同庁舎)	4月27日(木)	参集者12人 ・市町村協会5団体(6人) (内市町村兼務2人) ・市町村4市町(4人) ・県国際室1人 ・沿岸広域振興局1人
県北地域	二戸市 (二戸地区合同庁舎)	4月20日(木)	参集者11人 ・市町村協会4団体(6人) (内市町村兼務2人) ・市町村1市(2人) ・県国際室1人 ・県北広域振興局二戸地域振興センター2人

② 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行うとともに、国際化の意義に関する講演を開催した。

- ・開催日 平成 30 年 3 月 9 日(金)
- ・会場 盛岡市 (アイーナ)
- ・内容 全体会 (意見交換等)
- ・講演 「地域づくりと国際交流～岩手の一層の国際化に向けて～」
- ・講師 風早正毅氏 (総務省自治行政局国際室長 前岩手県総務部長)
- ・参加者 34 団体 48 人 (前年度 35 団体 43 人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 133 団体 (前年度 134 団体)

分野	団体数
国際理解	17
国際協力	9
日本語教室	7
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	7
二カ国間交流	32
市町村・一般	32

③ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

ア 国際交流団体等

- ・助成数 2 件、助成総額 200 千円
(前年度 4 件、" 252 千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
国際キャンペーン「Human Rights Defenders - 人権活動家を守る -」「盲目の人権活動家 陳 広誠 氏」講演会	(公社) アムネスティ・インターナショナル日本盛岡 (48) グループ	100,000 円 (241,348 円)
第 27 回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000 円 (241,348 円)

イ 市町村国際交流協会

- ・助成数 9 件、助成総額 970 千円
(前年度 5 件、" 522 千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
滝沢市国際交流フェスティバル	滝沢市国際交流協会	100,000 円 (155,617 円)

三陸ジオの星めぐり浴衣で過ごす初夏の夜～浄土ヶ浜ナイトクルーズ YUKATA NIGHT～	宮古市国際交流協会	100,000 円 (298,820 円)
ボランティア通訳養成講座	釜石市国際交流協会	100,000 円 (163,031 円)
キッズワールドクラブ	(一財) 遠野市教育文化振興財団	100,000 円 (551,252 円)
キッズサマースクール in けせん	大船渡市国際交流協会、 陸前高田市国際交流協会	200,000 円 (1,556,840 円)
金ヶ崎 DE Music&Dance フェスタ	金ヶ崎町国際交流協会	100,000 円 (214,247 円)
「世界の中の日本」特別講演会	東山国際交流協会	92,000 円 (120,155 円)
多文化共生の社会づくり醸成のための国際交流会開催事業	川崎 21 世紀国際交流クラブ	78,000 円 (128,240 円)
多言語化推進プロジェクト	久慈市国際交流協議会	100,000 円 (140,109 円)

ウ 日本語教室

- ・助成数 6 件、助成総額 417 千円
(前年度 4 件、 " 320 千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
岩手町国際交流協会 日本語サロン	(特非)岩手町国際交流協会	80,000 円 (150,645 円)
日本語教室「いっぽいっぽ」 運営事業	日本語教室 「いっぽいっぽ」	80,000 円 (141,763 円)
日本語交流室「じょい」 日本語指導	日本語交流室「じょい」	80,000 円 (123,988 円)
外国人のための日本語教室	陸前高田市国際交流協会	80,000 円 (204,768 円)
N I K K 日本語教室	日本語サポートクラブ N I K K	17,000 円 (26,155 円)
日本語講座	一関国際交流協会	80,000 円 (100,000 円)

④ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催や後援団体として支援を行った。

2 多文化共生の地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 118,217 件（前年度 38,196 件）*トップページアクセス数

② 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年 6 回発行した。

- ・発行部数 4,000 部/回 合計 24,000 部

③ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVD の教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録数 7,013 冊（前年度 7,965 冊）
- ・資料収集国数 190 か国（前年度 190 か国）
- ・国別ボックス数 30 箱/56 か国（前年度 25 箱/56 か国）
- ・民族衣装 23 か国/63 セット（前年度 21 か国/61 セット）

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

登録者数及び活用件数

- ・登録者 108 人（前年度 74 人）
- ・活用 38 件（前年度 39 件）

② 日本語サポーター研修の実施

日本語サポーターの育成を目的に 6 回シリーズの日本語サポーター研修を実施した。また、実際に日本語学校の授業を見学する特別研修も実施した。

- ・講師 盛岡大学文学部准教授 嶺岸 玲子先生
- ・開催日 平成 29 年 9 月 9 日（土）、9 月 24 日（日）、10 月 14 日（土）、10 月 29 日（日）、11 月 5 日（日）、11 月 26 日（日）、平成 30 年 1 月 30 日（火）特別研修：日本語学校授業見学 3 月 18 日（日）特別研修のふりかえり
- ・会場 盛岡市（アイーナほか）
- ・参加者数 27 人

(3) 外国人県民等の生活支援

① 外国人相談の実施

国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」について、職員や中国人、韓国人及びフィリピン人等英語圏対応の各外国人相談専門員、国際交流補助員等

で日常的な相談に対応した。

ア 相談窓口の設置

国際交流センターに相談窓口を設置し、生活上の問題をはじめとして幅広い相談への対応のほか、留学生等の生活支援にも対応した。

- ・相談件数 444 件（前年度 505 件）（イ、ウ、エの相談件数を含む。）
（相談内容の内訳）

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
28 年度	49	9	53	51	163	180
29 年度	26	4	23	54	235	102

イ 相談専門員の配置

- ・外国人相談専門員（中国語、1 名） 火曜日～金曜日 12：30～18：30
- ・外国人相談専門員（韓国語、1 名） 水曜日 15：00～17：00
- ・外国人相談専門員（英語、1 名） 水曜日 15：00～17：00
- ・国際交流補助員（スペイン語、1 名）土曜日・日曜日 9：00～16：00

ウ 外国人定期相談日

岩手県行政書士会と連携し、行政手続き等に関する専門相談に応じる相談日を定期的（毎月第 3 水曜日）に開設した。

- ・開設回数 12 回 相談件数 10 件（前年度 12 回 8 件）

エ 地域巡回相談

外国人相談専門員等が各地域を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・巡回数 8 か所（前年度 13 か所）
- ・相談対応件数 22 件（前年度 47 件）

オ 生活支援セミナーの開設

在住外国人の相談や生活支援ニーズへの対応を強化するため、在住外国人を対象に社会保障制度等をテーマにしたセミナーを開催した。

- ・講師 神田 永子氏（社会保険労務士）
- ・開催日 平成 29 年 7 月 16 日（日）
会場 盛岡市（アイーナ）
参加者数 9 人
- ・開催日 平成 29 年 11 月 26 日（日）
会場 一関市（川崎市民センター）
参加者数 21 人

② いわて災害時外国人支援体制の構築

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練を実施し、新たに 10 名の「災害時多言語サポーター」を認定・登録した。また、在住外国人と

の意見交換会を実施し、体制づくりに外国人の視点を生かすとともに、災害時サポートの英語・中国語講座を開催し、外国語での対応力の強化に取り組んだ。

ア 災害時サポート研修

・基礎研修

- ・開催日 平成 29 年 7 月 30 日（日）
- ・会場 アイーナ 6 階 団体活動室 2・3
- ・内容・講師 ①「災害時の対応を考える」
越野 修三 氏（防災危機管理アドバイザー、岩手大学地域防災研究センター客員教授）
②「災害時コミュニケーションを学ぶ」
松岡 洋子 氏（岩手大学グローバル教育センター 教授）
- ・参加者数 47 人

・ブラッシュアップ研修

- 災害時の外国人対応について実践的に学ぶ研修会として、熊本地震での外国人への情報提供や避難所での支援等についての講義と、英語・中国語及び「やさしい日本語」を使つてのサポートの練習（ロールプレイ）を実施した。
- ・講師 八木 浩光氏（（一財）熊本市国際交流振興事業団 事務局長）
 - ・盛岡会場 平成 29 年 9 月 16 日（土）
マリオス 18 階 188 会議室
参加者数 37 人
 - ・釜石会場 平成 29 年 9 月 17 日（日）
釜石市教育センター 5 階 岩手大学釜石教室
参加者数 34 人

イ 実践訓練

・いわて災害時多言語サポート実践訓練

避難所の運営者である盛岡市と共催し、盛岡市の外国人指定避難所である国際交流センターを会場に、大地震を想定した避難所での多言語対応訓練及び避難所と多言語支援センター間の情報伝達訓練を行った。

- ・開催日 平成 29 年 12 月 3 日（日）
- ・会場 アイーナ 国際交流センター、会議室 501
- ・共催 盛岡市
- ・参加者 50 人

・岩手県総合防災訓練への参加

総合防災訓練における「外国人避難訓練」（多言語サポート対応）を実施した。

- ・開催日 平成 29 年 8 月 26 日（日）
- ・会場 岩手県立盛岡南高等学校
- ・参加者 65 人（盛岡南高生を含む。）

ウ いわて災害時多言語サポーターの認定

- ・平成 29 年度いわて災害時多言語サポーター認定者数 10 人
(登録者合計 24 人)

エ 在住外国人との意見交換

東日本大震災発生時の対応を踏まえ、外国人県民との災害時の対応の問題点や今後の課題等について意見交換を行った。

- ・開催日 平成 30 年 3 月 8 日 (木)
- ・会場 アイーナ 6 階団体活動室 2
- ・出席者数 12 人

オ 災害時多言語サポート語学講座

・英語講座

- ・講師 プログラム作成 照井 里江子氏、ウィリアム フェリス氏
- ・会場 アイーナ団体活動室 1
- ・日時・テーマ・参加者数

日時	テーマ	参加者数
平成 29 年 9 月 2 日 (日)	地震	19 人
平成 29 年 9 月 24 日 (日)	大雨・洪水	18 人
平成 29 年 10 月 29 日 (日)	津波	13 人
平成 29 年 11 月 26 日 (日)	避難所	15 人
平成 29 年 12 月 17 日 (日)	応対・接遇	18 人
平成 30 年 1 月 28 日 (日)	雪氷災害	12 人
平成 30 年 2 月 25 日 (日)	テロ・ミサイル	13 人
平成 30 年 3 月 18 日 (日)	コミュニティ	18 人

・中国語講座

- ・講師 孫 晶 (当協会スタッフ)
- ・会場 アイーナ 5 階ミーティングルーム
- ・日時・テーマ・参加者数

日時	テーマ	参加者数
平成 29 年 9 月 9 日 (土)	地震	6 人
平成 29 年 10 月 14 日 (土)	大雨・洪水	5 人
平成 29 年 11 月 11 日 (土)	津波	3 人
平成 29 年 12 月 9 日 (土)	避難所	5 人
平成 30 年 1 月 13 日 (土)	応対・接遇	2 人
平成 30 年 2 月 10 日 (土)	雪氷災害	4 人
平成 30 年 3 月 10 日 (土)	テロ・ミサイル	3 人
	合計	28 人

③ 私費外国人留学生支援

ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」の委嘱を受けて、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

・奨学金受給者 10人 国際交流等活動実績 延べ 153件

（前年度 10人 国際交流等活動実績 延べ 168件）

〔内訳〕 岩手大学修士学生 7人、岩手大学学部学生 3人

イ 留学生交流活動支援事業（県補助）

沿岸地域（5地域）での交流イベントや施設見学等に県内在住の留学生が参加し、交流を深めるとともに各地域の文化等を学んだ。

開催地域	開催日時	事業内容	留学生参加者数
田野畑村	平成29年10月1日(日)～10月2日(月)	たのはた村産業まつり等への参加及び観光体験	6人
釜石市	平成29年10月8日(日)	2017 ワン・ワールド・フェスタ in 釜石への参加	4人
山田町	平成29年11月4日(土)	山田町町民芸術祭への参加	3人
洋野町	平成29年11月5日(日)	洋野町民文化祭・種市会場への参加	3人
大船渡市	平成30年2月18日(日)	国際交流イベント及び被災地施設見学等	8人

ウ 県内就職支援

外国人留学生に対し、県内で実施した就職支援セミナー等、就職関連の情報提供を行った。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化や多文化共生について理解を深めるための講演会を開催した。

ア 「ユーモアと異文化コミュニケーション～英語落語で世界を笑わせる～」

- ・講師 大島 希巳江氏（神奈川大学外国語学部国際文化交流学科教授）
- ・開催日 平成29年9月18日（月）
- ・場所 盛岡市（アイーナ）
- ・参加者数 55人

イ 「世界がもし100人の村だったら～世界をもっと身近に考えよう～」

- ・講師 池田 香代子氏（ドイツ文学翻訳家、口承文芸研究家）
- ・開催日 平成29年11月4日（土）
- ・場所 盛岡市（アイーナ）
- ・参加者数 99人

② 「いわて青年国際塾」の開催

ア 第1回サマースクール

- ・開催日 平成29年7月23日（日）
- ・場所 盛岡市（アイーナ）
- ・参加者数 14人
- ・プログラム
 - ①「留学セミナー～海外留学・海外体験の希望をかなえるために」
講師 今入 亜希子 氏
(U.S. カレッジコネクション代表、留学カウンセラー)
 - ②「グローバル人材育成ワークショップ～グローバルな課題についてディスカッションしよう！」
ファシリテーター 石川 一喜氏（拓殖大学国際学部 准教授）

イ 第2回ウインタースクール

- ・開催日 平成30年1月20日（土）
- ・場所 盛岡市（アイーナ）
- ・参加者数 26人
- ・プログラム
 - ①講演「海外体験を生かす」
講師 石北直之氏（渋川医療センター小児科 医師）
 - ②「コミュニケーションスキル講座」
講師 ジェームズ・ホール氏（岩手大学教育学部 准教授）

③ 「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業の実施

市町村の海外派遣事業参加者や国際交流に関心のある中高生、大学生など若者の発想やネットワークを地域の活性化に生かす取組として、県内7地域で延べ8回海外体験の合同報告会や海外展開に向けた地域の魅力等について、留学生等とのディスカッションを行うワークショップを開催する等、人材の育成を図った。

地域	場所	開催日	参加者数
盛岡市	アイーナ	平成29年9月18日（月） 平成29年10月27日（金）	23人
一関市	一関市民センター	平成29年11月25日（土）	6人
西和賀町	岩手県立西和賀高等学校	平成29年12月16日（土）	8人
大槌町	シーサイドタウンマスト	平成29年5月23日（火）他	6人
宮古市	浄土ヶ浜ビジターセンター	平成29年10月14日（土）	10人
二戸市	カシオペアメッセなにやーと メッセホール	平成29年10月15日（日）	12人
住田町	住田町町民ホール	平成30年2月17日（土）	21人

④ ワークショップ、出前講座の開設

ア 国際理解ワークショップ等

大学での講義及び国際交流センター来訪時に、多文化共生に関する説明や

留学生等在住外国人とともにディスカッションを行った。

実施日	大学名	人数	場所	テーマ
平成29年 4月14日	岩手医科大学 歯学部	67人	岩手医科大学	医療リベラルアーツ 「多文化共生」 *在住外国人とのディスカッション
平成29年 7月10日	岩手県立大学 社会福祉学部	19人	岩手県立大学	育児支援論「共生文化における 子育て支援」
平成29年 12月1日、 8日	岩手大学教育学 部	1人	岩手大学及び国 際交流センター	「地域マネジメント論」
平成29年 12月7日	岩手県立大学 看護学部	96人	岩手県立大学	「国際看護論」
平成29年 12月12日、 16日	岩手県立大学 共通教育センター	43人	岩手県立大学及 び国際交流センタ ー	「異文化間接触と多文化共生」 *留学生等とのディスカッション
平成29年 12月18日	岩手大学地域創 生推進機構	3人	国際交流センター	「県内の外国人の在住状況と 外国人支援」

イ 外国人出前講座開催事業

外国文化及び海外情勢の紹介、体験等を通じて、異文化理解、地域国際化の促進を図るため、市町村国際交流協会等の依頼に応じ、県内外で活躍する外国人や海外で活躍する日本人を派遣し、講演、ワークショップ等を実施した。

- ・開催地域 17 地域
- ・開催回数 21 回
- ・派遣講師数 延べ 42 名

	開催年月日	イベント名	実施団体	派遣講師
1	平成29年 9月28日	外国絵本の読み聞かせ	岩手町国際交流協会	廣瀬カロール (ペルー)
2	平成29年 10月8日	ワン・ワールド・フェスタ in 釜石	釜石市国際交流協会	ウィリアム ブラネン(アメリカ) レナタ ピアザ
3	平成29年 10月14日	「タイってどんな国？」	北上市国際交流協会	タンベンベンストーン・シラナット (タイ) ジェンワッターヌクン・キッテ イポット (タイ)
4	平成29年 10月15日	ワン・ワールド・フェスタ in 二戸	二戸市国際交流協会	ジョン・フランシス・ウィリアム・ ロベルトソン (スコットランド) フエキ・エピ・ラリビ (チュニジア)
5	平成29年 11月12日	世界の国をもっと知ろう	大槌町国際交流協会	阿部アユ・イスカンダール (インドネシア)

6	平成 29 年 12 月 16 日	世界の人とつながろう「国際交流教室」	野田村教育委員会	菅沼レイブン (台湾)
7	平成 29 年 10 月 30 日	外国絵本の読み聞かせ	岩手町国際交流協会	廣瀬カロール (ペルー)
8	平成 29 年 11 月 3 日	ふれあいフェスタ	ふれあいランド岩手 (盛岡市)	アン・ムタヒ (ケニヤ) アビワットポン・ワシン(ケニヤ) パタラキット・チャングハイブル パタナ (タイ) チャンゴロム・ティラーポーン(タイ) サプコタ・プラビン (ネパール) ガレ・バハドウル・ホム (ネパール) スレイマン (ナイジェリア) 佐々木 裕美 安部 由利子
9	平成 29 年 11 月 15 日	国際理解講座「世界とつながろう」	盛岡市立本宮小学校	ヌリヤ・シャウティ (ウイグル) 馬 ジシン (中国) ゼン ケツリン (中国) ヘーゼルアン相良 (フィリピン)
10	平成 29 年 11 月 16 日	世界とのかけはしクラブ	西和賀町国際交流協会	チェンジャーハウル(マレーシア) ブアントンシー プワナー(タイ) アシュラフルアラム (バングラデシュ)
11	平成 29 年 11 月 26 日	海外食文化体験交流会	紫波町国際交流協会	リム・フエキ (チュニジア)
12	平成 29 年 12 月 3 日	国際フェア in 花巻	花巻国際交流協会	阿部アユ・イスカダール (インドネシア)
13	平成 29 年 12 月 16 日	「異文化間接触と多文化共生」	岩手県立大学	サガトワ・サビナ (ウズベキスタン) ヘーゼルアン相良 (フィリピン) 須藤 香里
14	平成 30 年 1 月 16 日	外国絵本の読み聞かせ	岩手町国際交流協会	廣瀬カロール (ペルー)
15	平成 29 年 1 月 28 日	青少年教室「清庵学び塾」	一関市民センター	村上 アミ (フィリピン) 熱海 アイ子
16	平成 30 年 2 月 6 日	外国料理教室	八幡平市田頭コミュニティセンター	文 會順 (韓国)
17	平成 30 年 2 月 8 日	国際理解講座	盛岡市立青山小学校	ヘーゼルアン相良(フィリピン)、 馬 ジシン (中国) タンバンペンストーンシラナット、 キッティポットジェンワッター (タイ)
18	平成 30 年 2 月 18 日	金ヶ崎 DE 世界の Tea Party	金ヶ崎町国際交流協会	阿部アユ・イスカダール (インドネシア)
19	平成 30 年 2 月 17 日	春節交流会	八幡平市国際交流協会	陳茜 (中国) 賀毅 (中国)
20	平成 30 年 3 月 8 日	外国絵本の読み聞かせ	盛岡市にこにこ広場	工藤シンティア (フィリピン)

⑤ インターンシップ・プログラムの受入れ

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

・受入実績 14 校、109 人（前年度 17 校、137 人）

依頼先	内容	受入期間	日数	人数
岩手県立大学盛岡短期大学部 岩手県立大学宮古短期大学部	インターンシップ	平成 29 年 8 月 31 日～9 月 2 日	3 日	2 人
岩手大学	インターンシップ	平成 29 年 8 月 27 日、29 日	2 日	1 人
岩手県立大学	インターンシップ	平成 30 年 3 月 7 日、 9 日	2 日	1 人
第一学院高等学校 盛岡キャンパス	インターンシップ	平成 30 年 2 月 28 日、 3 月 1 日	2 日	4 人
厨川小学校	施設見学	平成 29 年 7 月 13 日	1 日	5 人
陸前高田第一中学校	施設見学	平成 29 年 8 月 31 日	1 日	5 人
上野法律ビジネス専門学校	施設見学	平成 29 年 7 月 5 日	1 日	6 人
アールム大学	施設見学	平成 29 年 8 月 23 日	1 日	8 人
医療福祉専門学校	施設利用	平成 29 年 9 月 25 日	1 日	9 人
中央大学	施設見学	平成 29 年 8 月 23 日	1 日	1 人
盛岡大学	職員への質問	平成 29 年 8 月 12 日	1 日	1 人
盛岡第一高校	職員への質問	平成 29 年 8 月 19 日	1 日	2 人
盛岡大学	職員への質問	平成 29 年 8 月 12 日	1 日	1 人
岩手大学 大学院	施設見学	平成 29 年 9 月 8 日	1 日	1 人
江刺東中学校	職員への質問	平成 29 年 10 月 2 日	1 日	2 人
岩手大学	施設見学	平成 29 年 10 月 26 日	1 日	10 人
岩手大学	施設見学+講座	平成 29 年 12 月 7 日	1 日	6 人
岩手大学	施設見学	平成 29 年 12 月 12 日	1 日	2 人
岩手大学	施設見学	平成 29 年 12 月 18 日	1 日	3 人
岩手県立大学	施設見学、講座	平成 29 年 12 月 16 日	1 日	32 人
岩手大学	施設見学、講座	平成 29 年 12 月 22 日	1 日	6 人
岩手県立大学盛岡短期大学部	職員への質問	平成 30 年 3 月 1 日	1 日	1 人

(2) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート

県からの委託により、県が受け入れた海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修や生活上のサポートを行った。

区 分	氏名	期 間	出身国	研 修（内 容）・留学先
海外自治体 職員研修員	李 悦 ^{り ゆえ}	平成 29 年 5 月～ 平成 30 年 4 月	中国	岩手県
海外自治体 職員研修員	寧 鉞 ^{にん ぼー}	平成 28 年 5 月～ 平成 29 年 4 月	中国	岩手県
海外技術研 修員	中塚ダニエル 真一郎	平成 29 年 6 月～ 平成 29 年 11 月	パラグアイ	和 久

(3) 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営

① トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム・地域人材コースの実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

- ・派遣学生数 7名（派遣国：台湾、カナダ、インドネシア、ドイツ、スイス、ノルウェー、イギリス、アメリカ）

② 「グローバルキャリアフェア in 岩手」の実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェアを実施した。

- ・開催日 平成 30 年 2 月 12 日（月）
- ・会場 ホテルメトロポリタン盛岡
- ・出展企業及び団体数 21
- ・参加者数 46 人

＜管理部門＞

I 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、専門委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
平成 29 年 5 月 23 日 (木)	評議員選定委員会	・評議員の選任
6 月 1 日 (火)	第 23 回理事会	決議事項 ① 平成 28 年度事業報告及び附属明細書の承認 ② 平成 28 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 ③ 定時評議員会の招集 ④ 会計規程の一部改正
6 月 21 日 (水)	第 8 回評議員会	決議事項 ① 平成 28 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 ② 理事の選任について
6 月 21 日 (水)	第 24 回理事会	① 理事長の選任 ② 常務理事の選任及び報酬月額の設定並びに事務局長事務取扱いの任命
11 月 9 日 (木)	第 25 回理事会	報告事項のみ
11 月 9 日 (木)	評議員及び役員合同の意見交換会	平成 29 年度主要事業実施状況等に関する意見交換
平成 30 年 3 月 19 日 (月)	第 26 回理事会	決議事項 ① 平成 30 年度事業計画書及び収支予算書の承認 ② 公益財団法人岩手県国際交流協会常勤嘱託職員の取扱いに関する規程の一部改正 ③ 県出資等法人に係る中期経営計画書(平成 27 年度～平成 30 年度)の承認

II 業務執行体制等

1 職員の状況

平成 29 年度末の事務局職員数は、常勤職員 5 名、非常勤専門職員 7 名、非常勤相談員 3 名、非常勤補助員 2 名である(事務局長事務取扱役員を除く)。

2 コンプライアンス体制及び職員研修

当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて、職員の意識を涵養するため理事長講話・訓示を行うとともに、外部講師による入国管理制度に関する研修を実施した。また、自治体国際化協会等、外部研修に積極的に職員を派遣した。

また、平成 30 年 3 月、外部委員 1 名を加えたコンプライアンス委員会において、

平成 29 年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

3 JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成 29 年度も継続配置した。

III 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

次の 50 件 5,030,000 円の寄附金を受け入れた。

ア 一般寄附金

3 件 140,000 円

イ 協賛寄附金

47 件 4,890,000 円

2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成 29 年 4 月から 6 月及び 11 月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を贈呈したほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った結果、平成 29 年度の新規入会は 36 件となった。

平成 29 年度中に入退会の状況は、次のとおりである。

	平成29年3月末	入 会	退 会		平成30年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	297	30	5	21	301	+ 4
学生会員	26	4	1	9	20	- 6
団体会員	48	2	1	1	48	0
合 計	371	36	7	31	369	- 2

平成 29 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 5 月

公益財団法人岩手県国際交流協会